

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



筑波学院大学と村づくり に関する連携協定締結

7月11日、村と筑波学院大学（つくば市・橋本綱夫理事長）による「茨城県美浦村と学校法人筑波学院大学との連携協定に関する協定」の締結式が行われました。
この協定は、人的・物的資源の活用により相互に連携協力し、地域の発展と人材の育成を図ることを目的とするもので、両者は今後、地域資源を活用とした村づくり、



教育および人材育成、健康および福祉の増進、文化・スポーツ・芸術の振興、国際交流など様々な分野における協力を構築していくこととなります。
あいさつの中で村長は、「大学がこれまで他の地域との連携で培った貴重な経験を、これからの小さくともキラリと光る村づくりに活かされれば」と語り、筑波学院大学の望月義人学長は、「美浦村は産業面でも環境面でも大変資源が豊かで学生が活躍する場にも恵まれている。大学には留学生も多いので留学生の目からも村に施策を提案できる」と述べました。この協定が今後の村づくりに活かされることが期待されます。

スイセンの球根を植えました



6月28日、チャレンジいばらき県民運動推進員の連絡会である、「大好き美浦村ネットワーク協議会（矢原はつひ会長）」の皆さんが、花いっぱい事業の一環として村内有志の方々から分けていただいたスイセンの球根を国道125号線沿いの斜面（光と風の丘公園向かい）へ植栽しました。

来年春には可憐な花が心を和ませてくれるでしょう。開花が楽しみです。

■球根を分けてくださった方々【順不同】

滝本さん（布佐）、山城さん（大山）、加藤さん（舟子）、小幡さん（木原）、匿名希望2名

◎ありがとうございました。

新農業委員に糸賀一男氏



美浦村農業委員会では、1名欠員となっている農業委員の募集を行い、水郷つくば農業協同組合推薦の糸賀一男氏が令和元年第2回美浦村議会定例会の同意を経て任命されました。任期は令和元年7月19日から令和3年7月28日までです。

糸賀さんは昭和54年に美浦村農業協同組合に入組後、営農指導員として農業に携わり、また農協の役員として農業者の代表となり活動されてきました。この経験を活かし、農業委員としての活躍が期待されます。

『ふれ愛夏祭り』

開催！

7月6日、子育て支援センターでみほふれ愛夏祭りが開催されました。ファミリーサポートさんやポニーバルーンさんの協力のもと、村内外から193人の来場者が訪れ、夏祭りを楽しみました。

可愛い浴衣や甚平を着た子ども達のご家族と一緒に、手型・お楽しみくじ・金魚すくいごっこ・お面作り・ヨーヨー釣り・バルーンアート等のブースを回り、楽しそうな笑顔が会場にあふれました。また、みほ一すが登場し子ども達と握手をしたり写真を一緒に撮ったりしました。祭りの最後に「ワッショイ！ワッショイ！」とみんなで力を合わせてお神輿を担いだ時はとても盛り上がりました。笑顔と笑い声があふれる、大盛況の一日でした。



今年も頑張っています!! 木原小キッズ☆カンパニー

6月19日、ホテルレイクビュー水戸(水戸市)にて開催された「金融広報関係者協議会」で美浦村商工会青年部の鈴木聡使さんと木原小学校の長田圭史先生による実践発表が行われました。テーマは「キッズ☆カンパニー2017～事業計画をアピールして、融資を獲得しよう～」で、キッズ☆カンパニーの活動の様子や、この取組を支援して下さっている鈴木さんの子どもたちに対する熱い想いが伝えられました。

7月12日にはこの活動の一つである村の特産品等販売体験活動がみほふれ愛プラザにて行われ、子どもたちは来場したお客さんに商品の魅力を大きな声でアピールし、商品を宣伝することの難しさや、販売することの大変さを学びました。今後は、事業計画の作成・融資審査会を経て、みほ産業文化・スポーツフェスティバルでの出店に向けて準備を進めます。子どもたちは活動を通して勤労の難しさや楽しさ、目標に向かって努力すること、協力して絆を深めることなど、様々なことを学んでいます。こういった取組が認められ、平成30年度には第12回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受けました。この活動を通しての今後の子どもたちの成長が楽しみです。



第14回ドッジボール大会

6月30日、美浦中学校体育館にて村子ども会育成連合会主催の「第14回ドッジボール大会」が開催されました。

▶高学年の部

- 【優勝】 チーム安中 (安中学区)
- 【準優勝】 S・E・N・D・E・王 (大谷学区)
- 【第3位】 ビースト (大谷学区)



【高学年の部・優勝】 チーム安中

▶低学年の部

- 【優勝】 安中ゴールドキッズ (安中学区)
- 【準優勝】 木原ブルーインパルス (木原学区)
- 【第3位】 木原ミニオンズ (木原学区)



【低学年の部・優勝】 安中ゴールドキッズ

七月の俳句(題 当季雑詠)
 振花の螺旋こぼるる雨しずく
 飯炊いてカレーとしよう夏さかん
 医学生孫の便りも春の色
 もやもやと梅雨時季悩むみだれ髪
 老いの身を案じ連れ出す夏の海
 朝取りの水を弾きて茄子の紺
 子等巢立ち納戸出られぬ武者人形
 山あいに灯火のごと半夏生
 卓挟みページ繰る音梅雨の音
 紫陽花の岬に眺む霞浦の湖
 向こう場が近くに映る梅雨景色
 青き踏むころびておきず見る左右
 寄りかかる人もいず咲く螢袋
 汗とばし飲み込む喉の音

正調俳詠 日和吟社 字結び「夕・涼」二字以上詠み込み
 勝手口から涼しい夏の音を弾まず胡瓜揉み
 初の賞与で贈ってくれた孫娘のビールで夕涼み
 祭り広場で蜘蛛の子散らす憎い夕立ち露店仕舞い
 君の帽子が朱色に染まる夕日背負って帰る道
 いきな浴衣をさらりとこなしうちわ片手に夕涼み
 夏の夕暮れ湯あがりうちわ爺と孫との蛍狩り
 居間の窓から夕月差せば恋し亡き母想い出す
 拉致の我が娘に七夕飾り風波超えゆけ父母の愛
 ポール蹴飛ばし遊びに疲れ赤い夕陽が背中を押す
 涼む縁側隣で猫も手足伸ばして夕涼み
 稲穂キラキラ夕日に染まり爽り間近な黄金波
 お風呂上がって浴衣に着替え団扇片手に夕涼み
 朝な夕なに眺めた筑波今日は夜景で交わす酒
 うちわ片手にご近所仲間ほたる探して涼む晩
 霞浦の夕映え紫峰の筑波見とれ忘れる釣る魚
 夏は暑いと思いはあれど心涼やか我が身かな
 冬に花咲き実るは夏の庭のびわの実思う夕
 隣から来る団扇の風に心くすぐる涼み台
 畑仕事が終わった後で家族集まり夕涼み

- (五十音順)
 宮崎きみ枝 松本秀子 松葉よしひ 松葉俊一
 飯塚筑風 山崎笑子 高橋一歩 石戸律華
 木村幸子 増尾青蓮 伊藤葉子 田島草実
 塚本夏雲 長谷川悦子 小蘭江久美 小池きよし
 門脇悠美 山岡亜子 上野八千代 井戸賀蘇道
 沼寄朋香 篠原美千代 武田かずお
 青野安佐子 石毛恵美子 市川紀行 海道民子
 木澤はしめ 高柳幸子 田島早苗 中島輝子
 長田敏笑 増尾尚子 松葉俊一 松葉よしひ